

令和7年度 企画財政部の運営方針

企画財政部長

勝 浦 敬 豊

企画財政部の組織体制	
企画政策課	財政課
税務課	

基 本 方 針	
○	「第2次菊川市総合計画」及び「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進します。また、「第3次菊川市総合計画」の策定を進めます。
	「菊川市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進方針」に基づき、市民の皆さまの利便性向上及び業務の効率化を図ります。また、自治体情報システムの標準化・共通化に対応するため、基幹系システムの移行を進めます。
	行政経営の視点に立ち、市が保有する経営資源を活用して歳入確保を図るとともに、政策・施策・事業評価の結果を予算編成に反映させていく「行政経営システム」の活用により、持続可能な行財政運営に取り組みます。
	公平かつ適正な市税の賦課徴収を行うとともに、法令等に基づく適正な徴収管理を行い、収入率の向上に努めます。

重点的に取り組む施策・事業

1 第3次菊川市総合計画の策定 (企画政策課)						
現状・課題	人口減少、少子高齢化の更なる進展、厳しい財政状況等を踏まえながら、市民の満足度を高めるとともに、市の魅力の創出、選ばれるまちづくりを進めるため、「第2次菊川市総合計画」及び「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進していく必要があります。 また、「第2次菊川市総合計画」は令和7年度に計画期間の最終年次を迎えることから、市民意識の把握、人口推計及び社会経済動向の調査等の分析を実施し、今後目指すべき将来像を示した「第3次菊川市総合計画」の策定を進める必要があります。			達成目標	令和7年9月議会に第3次菊川市総合計画の基本構想議案を提出します。	
	「第3次菊川市総合計画」の策定に向け、令和5、6年度から作業を進めてきた基本構想案のパブリックコメントを実施し、9月定例議会へ基本構想議案を提出します。					

「菊川市DX推進方針」に基づくデジタル化の推進 (企画政策課)		8 働きがいも 経済成長も 	10 人や国の不平等 をなくそう 	11 住み続けられる まちづくりを 		
現状・課題	国が定める「DX推進計画」において、自治体情報システムの標準化・共通化や行政手続のオンライン化などが重点取組事項として掲げられています。本市においても、国の掲げる重点取組事項を踏まえて「菊川市DX推進方針」を策定し、自治体DXに取り組んでいます。 この方針に基づき、自治体情報システムの標準化・共通化など、自治体DXの取り組みを進める必要があります。	達成目標	ガバメントクラウド上に標準準拠システムを構築し、運用を開始します。			
	令和7年度までの自治体情報システムの標準化・共通化に対応するため、基幹系システム移行に伴うデータ移行の準備を、関係課と連携して進めるとともに、基幹系システムの移行に取り組めます。					

3「行政経営システム」を活用した持続可能な 行財政運営の推進 (財政課・企画政策課)		11住み続けられる まちづくりを 			
現状・課題	少子高齢化の進展に伴う「社会保障関連経費」や公共施設等の老朽化に対応していくための「更新・維持補修経費」が増加傾向にあるなか、持続可能な行財政運営を行っていくことが求められています。 行政評価の結果を総合計画に掲げる政策・施策・事業の推進に反映させていくための「行政経営システム」について、より効果的・効率的な運用を行っていく必要があります。	達成目標	令和8年2月議会開会までに、令和6年度行政評価の結果を活用した令和8年度一般会計当初予算案を作成し、議会に提出します。		
	取組内容				

4 適正な市税の管理 (税務課)		11 住み続けられる まちづくりを 			
現状・課題	市税については、負担の公平性の観点から、収入率を上げるとともに、法令等に基づいた適正な滞納処分や不納欠損などの徴収管理が求められています。 滞納繰越額の減少には、現年課税分の滞納者への早期滞納整理が効果的であるため、継続して、現年課税分の滞納整理を早期かつ積極的に取り組む必要があります。	達成目標	下記税目毎の現年課税目標収入率を設定し達成を目指します。 【目標】（令和5年度収入率以上） ・個人住民税 98.66% ・固定資産税、都市計画税 99.41% ・軽自動車税（種別割） 99.04% ・国民健康保険税 95.05%		
	令和8年度への滞納繰越額を減少させるため、個人住民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税種別割・国民健康保険税における目標収入率を設定し、目標達成を目指します。				